

農業改良



中丹

普及センターだより

災害から

復興への第一歩

昨年9月に発生した台風18号による水害で、中丹地域は生活基盤や農業基盤に甚大な被害を受けました。しかし、生産者、関係機関の懸命な復興の取組により、無事今年の営農を再開することができました。

福知山市の茶生産者の多くが、この10年で3回の台風被害を受けており、昨年も茶園や茶工場が大きな浸水被害を受けました。今年の製



今年も無事製茶を開始（福知山市：大槻成利氏茶園）

茶を開始するにあたり不安もありましたが、何とか一番茶を終え、復興の第一歩を踏み出すことができました。



水害後も安定生産を目指して講習会

普及センターでは、災害直後から「伴走支援」として、農家の方へ被害状況の聴き取りや事後の技術指導、補助事業へのアドバイス等を行ってききました。今後も技術指導を中心に、農家の方々が元の営農状態に復帰できるよう、支援していきます。

舞鶴市加佐地区では、特産物である万願寺甘とうのハウス倒壊、浸水等の大きな被害がありました。その後ハウスの再建や土づくりが進み、被災された方々の努力もあり、今年も5月20日から京都市場を中心に出荷をスタートすることができました。



万願寺甘とうも順調に生育（舞鶴市：山口藤一氏ハウス）

京都府中丹広域振興局農林商工部

◆発行◆
2014年(平成26年)8月

にし
中丹西農業改良普及センター

〒620-0055 福知山市篠尾新町1-91
TEL 0773-22-4901

e-mail:chushin-no-nishi-nokai@pref.kyoto.lg.jp

ひがし
中丹東農業改良普及センター

〒623-0012 綾部市川糸町丁島10-2
TEL 0773-42-2255

e-mail:chushin-no-higashi-nokai@pref.kyoto.lg.jp



片岡 美恵子 さん

福知山市牧

女性農業士

水稲、採種小麦、豆類、施設・露地の野菜を、夫、息子、母との4人で経営しています。

できる限り農業に頼らない栽培を行っており、露地野菜はエコファーマー(※)として、学校給食向けに出荷しています。

平成14年から女性農業士として活動しています。最近では、担い手養成実践農場や普及センター主催の新規就農講座で野菜経営について助言する機会があり、出会った皆さんが、熱心に研鑽されている姿を、頼もしく感じました。これから新たに農業を目指す人には、強い信念と研究心を持ってがんばって欲しいと思います。

来年には息子への経営移譲を予定しています。その後は息子を見守りながらも、たまには夫婦でお出かけする、そんな風に農業を続けていけたらと思っています。

※エコファーマーとは、京都府における持続性の高い農業生産方式導入指針に基づき、持続性の高い農業生産方式を導入する計画を立て、京都府知事の認定を受けた農業者の愛称です。



霜尾 喜三 さん

舞鶴市西方寺

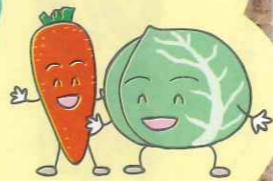
青年農業士

水稲自作15畝、水稲の作業受託、万願寺甘とう1600株、キュウリ、トマトの栽培に取り組み、また、若い農家で地域農業を守る「若い家でもかいい」の一員として小豆10畝を栽培しています。26年は酒米面積を増やしました。常時雇用を4名(兄弟2名含む)と、臨時雇用5名をもちます。

かつては水稲単一経営でしたが、山間地の西方寺は平坦地の大規模栽培と比べれば絶対的に不利なので、それならばと思い施設野菜を始めました。「京の農林水産業」未来を担う人づくり推進事業で過去3名の研修生を迎えました。

今後でもできる範囲で規模拡大して地域の農地を守り、農業をやりたい方には機会を与えて地域で就農していただくような活動を続けていきたいです。

地域で活躍する 農業士



農業士とは、農業のプロとして地域の模範となる農業を営み、また、地域活動や後継者育成にも積極的に取り組んでおられる農業者として、市長からの推薦を受けて京都府知事に認定された方々です。現在、京都府では、指導農業士、女性農業士、青年農業士あわせて217名が認定されています。ここ中丹地域でも29名の農業士(指導農業士19名、女性農業士6名、青年農業士4名)が、新規就農希望者の研修受入れや京都府立農業大学 校生の実習受入れ等を通じて、農業後継者の育成や地域農業の振興にがんばっておられます。



佐藤 正之 さん

舞鶴市佐波賀

指導農業士

夏は主に万願寺甘とうとトマトを、冬はイチゴと佐波賀だいきんを栽培しています。イチゴやトマトは「味」にこだわりの持ちており、糖度や品質が向上すると言われている肥料や資材を使用しています。

佐波賀だいきんについては、復活に向けた取組に当初から携わっており、今年も休耕地なども利用して10ヶ以上の栽培を予定しています。将来的には京のブランド産品として定着して欲しいと思っています。

また、農大生の受け入れや若手農業者への指導やサポートも行っていて、東舞鶴で新規就農者が増えてきている現状も嬉しく思います。若い農業者には、情報共有や刺激し合える仲間が必要であり、身近な農家と交流することを大切にしていきたいです。



三崎 要 さん

福知山市三和町梅原

指導農業士

福知山市三和町梅原でみず菜の周年栽培(ハウス22棟)を中心に紫ずきんや直売所向け野菜を生産しています。みず菜栽培では、市場の動きを見ながら出荷が途切れないよう配慮して栽培計画を立てています。

研修生は現在1名を受け入れていますが、卒業した研修生(3戸・5名)も梅原に就農して頑張っています。今後は農業体験をする研修生のための住居が必要と考えており、そのための準備を進めています。農業に限りますが、何事も「継続」が大切、と思って頑張っています。



中田 義孝 さん

綾部市位田町

指導農業士

主力の自園自製の茶2.4畝に、水稲2.5畝、秋作業受託2.5畝を組合せています。高品質・高単価な玉露やてん茶を作ることが、春先が冷涼な両丹茶の戦略です。私は、収穫の前年に茶樹の力を蓄えさせるための肥培管理と水管理に力を入れています。また、茶樹の力が衰えるため、2番茶は収穫しません。

平成15年には綾部茶の衰退を食い止めるため「有(両丹)いききファーム」を設立し、代表取締役就任しました。会社の主力品目である茶約4畝の他、年間を通じた経営のため紫ずきん、万願寺甘とうなども生産しています。

また、急須でお茶が飲まれなくなった中、本物のお茶を味わっていただきたい思いで、あやべ特産館内に「綾茶カフェ」を開業しました。皆さん、是非お越しください。



渡辺 弘造 さん

綾部市睦合町

指導農業士

息子とともに、水田8畝余りで水稲と野菜栽培に取り組んでいます。水稲は全て特別栽培米、野菜は万願寺甘とう以外は有機肥料を用い、栽培期間中農薬を使わない栽培です。

近頃、耕作されていない農地が増え、田んぼや畑に人影がほとんどなく寂しく思っています。中上林地域では「京力農場プラン」に取り組みとうとう動きがあります。上林の農地はUターンやIターンを含めて上林の住民で守っていききたいものです。

就農当初、多くの方々に支援していただき栽培に取り組んだビーマンが、収穫期を迎えた時の喜びが忘れられません。地域が就農を希望する若い人たちの受け皿となり、田んぼや畑に生産者の姿が戻るよう支援していきたいと思っています。

〈募集中〉

農業に取り組む上で必要となる農業の基礎知識を得ただけだと、平成22年度から毎年秋頃に農業基礎講座を開催しています。



中丹新規就農講座

今年度も、10月中旬から12月中旬までに5回講座を開講します。

対象者は中丹地域に在住で農業を営んで5年以内又はこれから農業を営む見込みの方(家庭菜園志向の方は対象外)で、全講座に出席できる方です。

講座内容は、**土壌・肥料の基本や病害虫防除、特産物の経営概要、先輩農家の経営概要**など。初心者に分かりやすい内容となっています。

受講生の募集期間は、8月1日(金)から8月29日(金)です。

お問い合わせは、中丹東・西農業改良普及センターまで。



「京力農場プラン」を作しましょう

地域農業の5年後の姿を想像し、地域で話し合っ
て「京力農場プラン」を作しましょう。

【話し合いの視点】

- ①誰の農地が将来耕作放棄になりそうか。
- ②誰が担い手で、①の農地を誰が分担し
管理できそうか。
- ③担い手がどんな作物・どの農地で稼ぎ
たいと考え、地元はどんな協力ができ
そうか。 など

担い手が居ない集落では、担い手が期待できる他
の集落と一緒に話し合しましょう。プランを作成し
た地域では補助事業等の活用も可能です。関心ある
集落・地域は普及センター・市にご相談ください。

酒造好適米の生産振興の取り組み

酒造好適米の「祝」は京都府育成の独自品種で、
酒造会社から吟醸酒向けとして高く評価され、生
産拡大の要望を受けています。しかし、近年生産
が低迷しており、需要に応えられていない状況が
続いています。また、酒造好適米「五百万石」、
掛け米用の新品種「京の輝き」も生産の拡大が求
められています。

そこで京都府では、
酒米生産プロジェクトを立ち上げ、実証
ほでの技術確立、研
修会などでの技術普
及、作付面積の拡大
などに取り組んでい
ます。



農産物直売所安心・安全出張講座のご案内

農産物直売所は「新鮮な商品が安く買える」と
人気を集めていますが、消費者の信頼に応えるた
めにも安全性の確保に取り組まなければなりません。
そのため、普及センターでは、栽培履歴の記
帳、表示の適正化などを直売所に出かけて説明す
る「出張講座」を実施しています。

内容は安全対策だけに限定せず、各直売所のご
希望に合わせて対応しますので、関心のある直売
所があれば、普及センターにご連絡ください。

講座の内容(例)

- 農業履歴記帳
- 土づくり・病虫害防除
- 野菜づくり
- 山菜づくり
- 表示の注意点 等

山菜出前講座のお知らせ

特産物育成と遊休農地の解消を目的に、平成
24年度から山ブキ栽培をやさしく解説する「山
菜出前講座」を開催しています。皆様からのご相
談をお待ちしております。

受講者の声 小笠原武男さん (福知山市瘤木)

「山ブキ栽培に興味があり昨
年10月に近所の方と自宅で受講
しました。普及センターの紹介
で綾部の市志集落から苗を購入し、
12月にほ場(10a)に定植しました。



早春に萌芽して以降、マルチ
穴の除草をただけで、現在(6月上旬)ではマルチ穴一杯
に株が成長して驚いています。栽培に自信がつけば集落で
広げて地域の特産物にしたいですね。」

機械化小豆栽培の品質、収量向上の取組

中丹地域の「丹波大納言小豆」は、大粒で品質
が極めて良いことから実需業界から高い評価を得
ています。

しかし、近年は高齢化、担い手不足により面積
が減少傾向にあることから、生産量の確保のため
法人、集落営農組織などによるコンバイン収穫を
行う機械化栽培体系を推進しています。



昨年度の現地互見会

普及センターでは機
械化栽培体系小豆の雑
草対策や、品質・収量
の向上をめざし、講習
会、現地互見会の開催、
新技術開発のための実
証ほの設置などに取り
組んでいます。

農作業事故に注意してください

これから本格的に始まる水稻の収穫準備に余念
のない方もおられると思いますが、

「慣れやあせりは事故の元」

と言われるように、誰でも危険を冒してしまう可
能性があります。

最近の農作業中の事故の傾向としては、高齢者
の方の事故が多くなっています。

また、機械作業中の事故だけでなく、高所から
の転落、高電圧になる電気柵での感電なども大き
な事故につながる可能性があります。

安全確保が最優先です。作業手順の再確認や作
業環境の整備、機械器具の点検を怠らないように
し、心とスケジュールに余裕を持って農作業に取り
かかりましょう。